

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和7年9月24日
事業者名:	株式会社 宇佐美組

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	2030年までにCO2排出量を42%削減する企業目標に向けて、本社電力契約の一部をCO2フリー電気へ切り替えることで、排出量削減を加速させる	⑦エネルギーをみんなに、そしてクリーンに、⑬気候変動に具体的な対策を	R7年度10月からCO2フリー電気へ切り替え、CO2排出量削減する	指標	2022年基準排出量：109.5トン 2025年度末までに累計10トンの削減 現状の使用量（78,759kWh）に対し、再エネ割合80%で25.8トン削減可能
				目標	2030年目標排出量：63.5トン（42%削減）を達成する
社会	インターンシップや職場体験を積極的に受け入れる	④質の高い教育をみんなに、⑧働きがいも経済成長も	令和7年度 夏季 インターンシップ 20名受け入れ（大学生、専門学生） 職場体験受け入れ（大垣工業2年生）	指標	インターンシップ受け入れ人数 職場体験受け入れ人数
				目標	令和9年までに、インターンシップ受け入れ人数1.5倍（令和7年度対比） 職場体験受け入れ人数（令和7年度対比）
経済	電子契約書・請求書を導入し業務効率化を図る	⑧働きがいも経済成長も	電子契約書・請求書（客先への発行分）は導入済	指標	電子請求書（協力会社からの受取分）について導入を目指す
				目標	2027年までに紙の請求書から電子請求書（協力会社からの受取分）を80%までにする
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 <具体的な内容を記載> 重点項目について社内共有システムにて情報展開をしている			
	<input checked="" type="checkbox"/>				